



7

本校では世の中に対する興味や関心を高め、新聞記事の要約を通して文章力を養うことを目的とした「朝新聞」活動や、平和学習を目的の一つとする長崎校外研修旅行のまとめとしての「長崎新聞」作成を通し、長年にわたってNIE活動を行ってきた。

指定校1年目の2015年は、各教室に新聞を配布できるといふ環境を生かして、終礼時に日直の生徒が興味関心に沿って新聞記事を選び、感想をまとめたシートをクラスで発表するという取り組みを全学年で実施した。2年目は、学外活動への積極的な参加を目標に掲げて、河北新報社主催の新聞記事コンクールに全校生徒で参加した。また2、3年生は生活班(5、6人編

成)ごとに新聞記事紹介をリーノート形式で行った。

長崎新聞作成は、2年次の河北新報社への職場訪問に始まり、長崎の調べ学習、河北新報社による出前授業1(新聞活用講座)、平和学習のDVD鑑賞、3年次の事前学習としての長崎リポート作成、出前授業2(取材について学ぼう)、平和宣言の取り組み、出前授業3(長崎新聞をつくらう)というカリキュラムに

## 平和への思い新聞に

よって行っている。

一年以上にわたって続してきた平和学習の成果を、最後に生徒自身が記者となり、編集者となって新聞を発行する形式でまとめるのである。

NIE活動を通し、生徒からは「新聞やニュースに関心を持つようになった」「いろいろな視点で物事を見ることができるようになった」「世の中の出來事を自分自身の問題として考えるようになった」といった声が聞かれた。新聞紹介の仕方は回数を重ね

ることにうまくなっていき、継続して取り組むことで大きく成長することを実感させられた。

新聞記事コンクールでは、受賞した生徒が自信や喜びとなることはもちろん、他の生徒にとつて身近な目標となることも大きい。

長崎新聞の記事からは、被爆地長崎で被爆講話を聴き、お互いに感想を分かち合う活動を通して一人一人しっかりと

心に刻まれるのであろう、「自らが平和を築く者として、主体的に社会に参画していくのだ」という強い決意が伝わってくる。本年度の長崎新聞の完成をとても楽しみにしている。

(宮城学院中教諭・丸山仁)

宮城県内のNIE実践指定校11校の担当教員が、活動や成果を報告します。各月第1週に掲載します。

131年。スクールモットーは「神を畏れ、隣人を愛する」。3本柱として「英語教育」「音楽教育」「国際理解教育」を掲げる。

メモ 仙台市青葉区桜ヶ丘9の1の1。鎗田謙一校長。生徒数143人。1886年に仙台初の女子教育機関「宮城女学校」として設立されて今年で



出前授業  
長崎新聞をまとめるための河北新報記者による

宮城学院中(仙台市)